

戦評用紙

大会名	平成25年度国民体育大会東北ブロック兼第40回東北総合体育大会
-----	---------------------------------

日時	2013年8月25日9:30～	区分	少年女子
----	-----------------	----	------

チームA				チームB
山形				宮城
59	13	1Q	18	55
	16	2Q	19	
	18	3Q	5	
	12	4Q	13	
		延長		

【戦評】

山形がハーフコートマンツーマン、宮城が2-2-1ゾーンプレスからマンツーマンディフェンスでスタート。序盤両チームとも厳しいディフェンスの前に思うようにシュートが決まらない。残り5分41秒で宮城が1回目のタイムアウト。その後宮城の3Pが確率よく決まり流れを掴む。18-13、宮城5点リードで第1ピリオド終了。第2ピリオド、宮城が#4、#15の1on1からのドライブやストップジャンプシュートなどで確実に得点を重ねていく。対する山形は宮城の2-2-1ゾーンプレスに対してうまくボールが運べない。タイムアウトを取って修正を試みるがその後もミスが続いてしまう。試合の主導権を握った宮城がさらにリードを広げ、37-29で第2ピリオド終了。第3ピリオド、立ち上がり山形が前半苦しんだ宮城のゾーンプレスに対してしっかりとアジャストし、ゴール下での得点を重ねる。

第3ピリオド開始3分、山形が4連続ゴールで37-37、同点に追いついたところで宮城たまたまタイムアウト。ディフェンスをハーフコートのマンツーマンにしてディフェンスから立て直しを図る。しかし、前半確率よく決まっていたシュートがことごとくリングに嫌われ得点が伸びない。その間に山形#11のシュートなどでさらに加点、47-42、山形5点リードで第3ピリオド終了。迎えた最終ピリオド、出だしから山形#4のジャンプシュートが3本連続で決まり53-43。この試合最大の10点差に広がったところで宮城が2回目のタイムアウト。タイムアウト後宮城#11がバスケットカウントなどで奮闘、またチーム全員でオフenseリバウンドを奪いチャンスを作る。しかし、ノーマークのシュートがなかなか決まらず点差を縮められない。対する山形はミスがあるものの落ち着いたボール運びから要所で得点を重ね逆転を許さない。そのまま山形が逃げ切り勝利した。

戦評者

木村 歩